

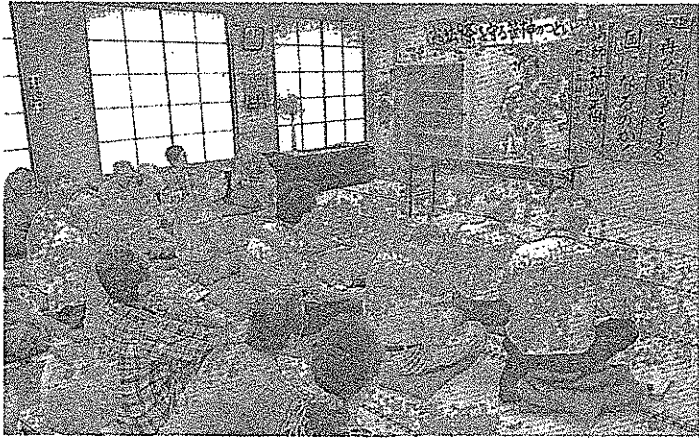
8/15 五旗

自民党元幹部

自衛隊OBも

「戦場には送られるのは若い人たちが。高齢者と若者が交じりあって、大きな力になり、止めていかないといけない。」

新潟県阿賀野市の「九条を守る阿賀野の会」呼びかけ人を兼ねた、岡市老人クラブ会長の田村廣治さん(81)は、戦争法案の廃案を訴えます。



阿賀野の会(左から)田村廣治さん、新藤阿賀野市

案を訴えます。かつて自民党新潟県連青年局長や同支部長、笹神村(現阿賀野市)の村議を務めてきた田村さん。法案が「わからない」という国民が多い。それなのに安倍政権のやり方は強硬的だ。が、自民党内では批判の声が上がらない」と危機感

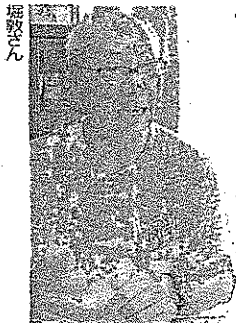
「専守防衛、個別的自衛権の範囲を守るべきだ。集団的自衛権は、アメリカと一緒に戦争をする危険な流れ」と語ります。風聞さんは「もう自民党には入れない」と同党事務所を抗議の電話を掛けた。「安倍政権を倒すために、党派や政治信条の違いを取っ払って、みんなが一丸となつてたたかう必要がある。」つながりのある20、30代の青年を自宅に招き、法案の危険性を伝える活動もしています。

戦争法案廃案へ賛同255人に

阿賀野の会は、結成10周年の記念集会を7月18日に開き、150人が参加。今年3月には、すそ野を広げようと、地元有力者を訪問。前出の田村さんや著名な郷土史研究者、土地改良区理事など18人が加わり、現在37人です。賛同会員も255人(8月1日時点)になりました。

地域単位でも集い開き始動

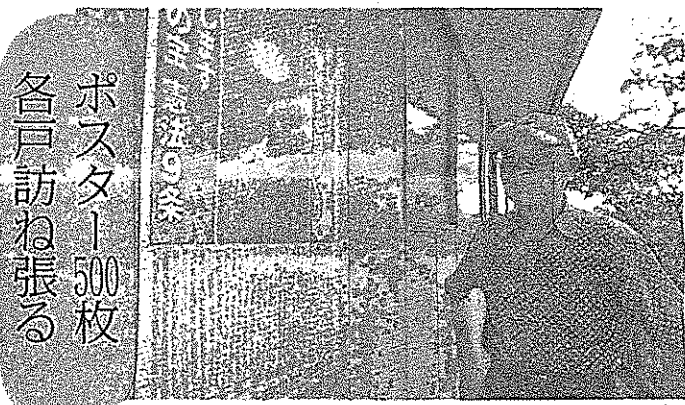
「いっそう地域に根差した活動を」と8月1日、安田町、京ヶ瀬村、水原町、笹神村の旧4町村(2004年4月に阿賀野市に合併)で、初めて地域単位の「笹神9条の会」がつどいを開き始動しました。笹神地域の賛同者51人が参加しました。



堀敦さん



須田一彦さん



各戸に張り出されている新潟県9条の会のポスター。右は稲垣恵造さん=2日、新潟県阿賀野市

ポスター500枚
各戸訪ね張る

「いっそう地域に根差した活動を」と8月1日、安田町、京ヶ瀬村、水原町、笹神村の旧4町村(2004年4月に阿賀野市に合併)で、初めて地域単位の「笹神9条の会」がつどいを開き始動しました。笹神地域の賛同者51人が参加しました。

「満州」に眠る弟妹が
背中を押してくれる

いよいよやっている。自分も九条の会の学習会で学び、周りの人たちに伝え、(戦争法案を)止めたい!」他の3つの旧町村でも、地域単位の九条の会の立ち上げをめざしています。戦中、父親が「満州開拓団」の教員を志願し、家族5人で「満州」(中国東北)にわたった須田一彦さん(78)。第2次安倍政権の発足を機に危機感を強め、阿賀野の会をつどいなど、自らの経験語り始めました。3人の弟妹は衰弱して命を落とした。

「満州」の凍土に眠る弟妹が「戦争は絶対だめだ」と、私の背中を押してくれて、国民の圧倒的多数を結集すれば戦争法案、改憲を防ぐことができる!」法案の危険性
広く知らせて
阿賀野の会の稲垣恵造事務局長は「今、一番大事なことは、戦争法案の危険性や国会情勢を知らせること。戦争法案の危険と向き合う中で次に、地元有力者を」

「安倍政権は、最終的に国民投票で改憲を狙っている。今回の立憲主義破壊の戦争法案を何としても阻止する。九条の会が地域に根差した活動を広げ、力を発揮するときです!」(中川亮)

(中川亮)